

研究計画説明書

平成25年度（ No. ー ）

研究課題名	山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築																																																
研究期間	平成25年度～27年度	形態	(新規) ・継続 (年目)																																														
研究開発予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><u>H24年度：616千円</u></td> <td style="width: 20%;"><u>H25年度：952千円</u></td> <td style="width: 20%;"><u>H26年度：15,780千円</u></td> <td style="width: 20%;"><u>H26年度：130千円</u></td> <td style="width: 20%;"><u>予算総額：17,478千円</u></td> </tr> <tr> <td>旅費：</td> <td>旅費：</td> <td>旅費：</td> <td>旅費：</td> <td>旅費：</td> </tr> <tr> <td>消耗品費：</td> <td>消耗品費：</td> <td>消耗品費：</td> <td>消耗品費：</td> <td>消耗品費：</td> </tr> <tr> <td>委託費：</td> <td>委託費：30</td> <td>委託費：30</td> <td>委託費：30</td> <td>委託費：90</td> </tr> <tr> <td>使賃：</td> <td>使賃：</td> <td>使賃：</td> <td>使賃：</td> <td>使賃：</td> </tr> <tr> <td>原材料費：</td> <td>原材料費：</td> <td>原材料費：</td> <td>原材料費：</td> <td>原材料費：</td> </tr> <tr> <td>備品：616</td> <td>備品：349</td> <td>備品：15,750(予)</td> <td>備品：100</td> <td>備品：16,815</td> </tr> <tr> <td>負担金：</td> <td>負担金：</td> <td>負担金：</td> <td>負担金：</td> <td>負担金：</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他：573</td> <td style="text-align: center;">↑</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">↑ スキャナ購入の検討次第で委託料になる可能性がある (単位：千円)</p>				<u>H24年度：616千円</u>	<u>H25年度：952千円</u>	<u>H26年度：15,780千円</u>	<u>H26年度：130千円</u>	<u>予算総額：17,478千円</u>	旅費：	旅費：	旅費：	旅費：	旅費：	消耗品費：	消耗品費：	消耗品費：	消耗品費：	消耗品費：	委託費：	委託費：30	委託費：30	委託費：30	委託費：90	使賃：	使賃：	使賃：	使賃：	使賃：	原材料費：	原材料費：	原材料費：	原材料費：	原材料費：	備品：616	備品：349	備品：15,750(予)	備品：100	備品：16,815	負担金：	負担金：	負担金：	負担金：	負担金：		その他：573	↑		
<u>H24年度：616千円</u>	<u>H25年度：952千円</u>	<u>H26年度：15,780千円</u>	<u>H26年度：130千円</u>	<u>予算総額：17,478千円</u>																																													
旅費：	旅費：	旅費：	旅費：	旅費：																																													
消耗品費：	消耗品費：	消耗品費：	消耗品費：	消耗品費：																																													
委託費：	委託費：30	委託費：30	委託費：30	委託費：90																																													
使賃：	使賃：	使賃：	使賃：	使賃：																																													
原材料費：	原材料費：	原材料費：	原材料費：	原材料費：																																													
備品：616	備品：349	備品：15,750(予)	備品：100	備品：16,815																																													
負担金：	負担金：	負担金：	負担金：	負担金：																																													
	その他：573	↑																																															
研究担当者	山梨県工業技術センター：串田賢一，宮川理恵，鈴木文晃，金丸勝彦，三井由香里 富士工業技術センター：五十嵐哲也																																																
外部共同研究者	埋蔵文化財センター：山本茂樹 県立美術館：※調整中 県立博物館：春原史寛 県立考古博物館：村石眞澄 県立文学館：小石川正文																																																
研究の目的	<p>○ 近年，新興国がコスト競争力を武器に市場獲得を進める中，日本では，各地の歴史，文化に育まれてきた素材や伝統的技術などの地域資源を活かして，現代生活や市場で使用する商品開発やブランドを確立しようとする取組が盛んに行われている。</p> <p>○ 今後，中小企業の商品・サービスが競争優位性を保ち，市場を創造していくうえでは，地域資源の有効活用が今以上に重要な要素となってくるものと推察され，より深みのあるコンテンツを生み出したり，眠っている資源を掘り起こし，デザインソースとして流通させていくための情報集積が重要になってきている。</p> <p>○ そこで本研究では，地域に存在している地域資源や歴史資源を地場産業等で活用することのできるデザインソースとして調査・編集・集積・公開することで地域に根差した競争力ある新規プロダクトの創出に資することを目的とする。</p>																																																
研究の内容	<p>[H24年度：プレ（調査対象の把握、試験的データ取得及びアーカイブ仮構築）]</p> <p>① 研究推進に係る関係機関の協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究趣旨の説明 ・調査対象となる対象物及び数量の把握 対象：各機関所蔵品のうち、データ化を希望するもの若しくはデータ化に向いていると判断されるもの 分類：[分野] × [2D、2.5D、3D] × [大きさ] × [許認可の有無] ・調査対象範囲の（仮）決定 ・アーカイブの構成内容の検討及び仮構築 ・対象物のデータ化に関する年次計画の策定 ・調査対象に関する勉強会（各機関訪問～勉強会） <p>② データ取得～デザインソース化の予備的实施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ化に関する技術的な課題を把握するため、調査対象の中からサンプルを用意し、撮影～データ化を行う（甲斐絹、縄文土器、染色用型紙を実施予定） 内容：デジタルカメラによる高解像度撮影～ベクタデータ化 <p>研究予算要求理由)</p> <p>○デジタルカメラ（一式）：CANON EOS 5D MarkIII、ズームレンズ標準(EF24-105mm)、マクロレンズ(EF50mm コンパクトマクロ)</p>																																																

	<p>データ取得の対象物はいずれも資料価値の高いものであり、また、紙のような平面媒体だけではなく、表面の凹凸やテクスチャー、レリーフのような半立体等も含まれることから、接触式の2Dスキャナではデータ取得が物理的に困難になることが予想される。このことから、高精細なデジタルカメラが必須である。</p> <p>また、色彩情報の取得も重要であることから、一般的なデジタルカメラが内部的に行うJPEG圧縮出力（色彩情報が抜ける、彩度等を勝手に調整してしまう）ではなくRAWデータ（対象物の色彩そのまま）の高度な取り扱いが可能な機種としたい。</p> <p>○File Maker Pro（ソフトウェア）： 専門家のプログラミングに依らない、しかし、検索等の機能を備えたアーカイブを構築するため、市販のデータベースデザインを行うソフトウェアを購入・活用することとしたい。</p> <p><u>[H25年度：1年次（調査、平面物のベクターデータ化、アーカイブ設計ほか）]</u> <u>データ収集量（目標：150件～（仮）※プレ実施による検討により変化）</u></p> <p>③ 2次元素材の収集～ベクターデータ化（各協力機関収蔵品からの選択的实施） ④ 3次元スキャン対象物の量的調査 ⑤ 昔話などの調査～テキスト化、関連資料のデータ化 ⑥ アーカイブの設計・検討 ⑦ 各機関所蔵品に関する勉強会、編集方針等協議 ⑧ 創作デザインの寄託（（社）日本デザイン保護協会）</p> <p><u>[H26年度：2年次（調査、立体物のスキャン～CADデータ化、アーカイブ設計ほか）]</u> <u>データ収集量（目標：50件～（仮）※プレ実施による検討により変化）</u></p> <p>① 3次元素材のスキャン～CADデータ化（各協力機関収蔵品からの選択的实施） ② 2次元素材の収集～ベクターデータ化（各協力機関収蔵品からの選択的实施） ③ 昔話などの調査～テキスト化、関連資料のデータ化 ④ アーカイブの設計・検討 ⑤ 各機関所蔵品に関する勉強会、編集方針等協議 ⑥ 創作デザインの寄託（（社）日本デザイン保護協会）</p> <p><u>[H27年度：3年次（調査、アーカイブ設計・構築）]</u> <u>データ収集量（目標：30件～）</u></p> <p>① アーカイブの構築 ② 2次元素材の収集～ベクターデータ化（各協力機関収蔵品からの選択的实施） ③ 3次元素材のスキャン～CADデータ化（各協力機関収蔵品からの選択的实施） ④ 昔話などの調査～テキスト化、関連資料のデータ化 ⑤ 創作デザインの寄託（（社）日本デザイン保護協会）</p>
<p>研究の基礎となるこれまでの研究蓄積</p>	<p>○ 地域資源情報関連：特に無し（企業支援、巡回等で情報の蓄積は行っている） ○ 3次元関連（複数装置間でのデータ交換技術、RE関連技術の蓄積） →3D技術の統合化による総合的のものづくり支援システムに関する研究 [H18年度～H20年度] →CG・CAD技術を応用した生体用プロダクトの開発 [H22年度～H23年度]</p>
<p>期待される成果</p>	<p>○ 衣・食・住・観光等の各分野で、特徴ある新たな製品等の開発が進む等、内需の創造が期待できる。 ○ 継続してメンテナンスすることで長く使えるアーカイブの創出が期待できる。 ○ 地域資源を生かしたのものづくりに関し、新たな組織連携が期待できる。</p>
<p>共同研究とする理由</p>	<p>○ 本研究においては、各機関において収蔵している資料のほか、専門知識、技術、ノウハウなどのシーズを複合的に生かすことが有効に機能すると考えられる。</p>